



北海道の運輸の動き



～月別データで示す北海道の運輸産業～

令和3年8月発表

概況

1. 旅客輸送

令和3年5月の鉄道の旅客数は、JR北海道で対前年同月比19.6%増、対前々年同月比37.3%減、地下鉄で対前年同月比37.2%増、対前々年同月比37.1%減、路面電車で対前年同月比40.2%増、対前々年同月比42.7%減となった。

令和3年4月のバスの旅客数は、乗合バスで対前年同月比30.6%減、対前々年同月比60.8%減、貸切バスで対前年同月比42.7%増、対前々年同月比57.3%減となった。

令和3年4月のハイヤー・タクシーの旅客数は、対前年同月比33.6%増、対前々年同月比37.2%減となった。

2. 貨物輸送

令和3年5月のトラック(一般貨物)の輸送量は、対前年同月比9.6%減、対前々年同月比16.9%減となった。

令和3年5月の港湾運送(内航)の輸送量は、対前年同月比8.0%増となり、3か月連続でプラスとなった。また、対前々年同月比は2.0%増となった。

3. 観光

令和3年5月の道内延べ宿泊者数は、対前年同月比180.0%増となり、3か月連続でプラスとなった。また、対前々年同月比は59.7%減となった。

4. 車両数

令和3年6月の新車登録台数等の対前年同月比について、乗用自動車(普通・小型)は1.0%増、乗用自動車(軽)は1.2%減、貨物自動車は12.6%増、貨物自動車(軽)は7.9%増となった。

また、対前々年同月比について、乗用自動車(普通・小型)は28.1%減、乗用自動車(軽)は14.3%減、貨物自動車は4.0%減、貨物自動車(軽)は17.9%減となった。

北海道運輸局

交通政策部 交通企画課

〒060-0042 札幌市中央区大通西10丁目

電話 011-290-2721

FAX 011-290-2716

<https://www.tb.mlit.go.jp/hokkaido/>

令和3年8月発表

1. 旅客輸送

		対前年同月比(%)		
		当月	先月	先々月
	JR北海道	19.6	23.9	15.0
	地下鉄	37.2	36.0	8.7
	路面電車	40.2	34.1	5.3
	乗合バス	▲ 30.6	13.8	▲ 23.4
	貸切バス	42.7	46.3	▲ 48.3
	ハイヤー・タクシー	33.6	9.0	▲ 26.9
	内航フェリー	62.3	36.5	12.2
	外航フェリー	-	-	-
	国内線	310.8	211.8	13.7
	国際線	-	-	▲ 100.0



2. 貨物輸送

		対前年同月比(%)		
		当月	先月	先々月
	JR貨物	5.3	▲ 5.3	0.1
	特別積合	2.5	5.1	10.4
	一般貨物	▲ 9.6	▲ 9.2	13.5
	ターミナル	▲ 1.7	1.3	6.5
	内航	8.0	5.7	4.7
	外航	13.8	▲ 4.0	20.2
	内航コンテナ	0.3	▲ 2.5	▲ 7.0
	外航コンテナ	▲ 2.3	▲ 1.3	22.7
	海峡	0.8	▲ 0.9	▲ 3.8
	中・長距離	8.0	6.6	7.6
	国内線	27.4	35.3	▲ 20.0
	国際線	408.1	579.7	309.8
	普通倉庫	21.3	14.4	16.1
	貯蔵槽倉庫	▲ 13.2	6.6	▲ 13.3
	冷蔵倉庫	0.2	▲ 11.6	▲ 13.9

3. 観光

		対前年同月比(%)		
		当月	先月	先々月
	延べ宿泊者数	180.0	132.6	54.7

4. 車両数

		対前年同月比(%)		
		当月	先月	先々月
	新規登録(乗用)	1.0	20.4	6.5
	新規届出(軽自動車)	▲ 1.2	98.4	33.4
	新規登録(貨物)	12.6	1.4	▲ 6.9
	新規届出(軽自動車)	7.9	46.1	21.1

※ 詳細は「モード別実績」のとおり

※ 営業倉庫については、四半期毎の集計
 今月掲載データは令和2年度第4四半期(令和3年1月~令和3年3月)分

<凡例>






「当月」はR3.6	「当月」はR3.5	「当月」はR3.4	「当月」はR3.3

目 次




I. 概況	1p	III. 貨物輸送		IV. 観光	
II. 旅客輸送		1. 鉄道	9p	1. 延べ宿泊者数	17p
1. 鉄道		2. 自動車		V. 車両数	
・JR北海道、北海道新幹線、民鉄	2p	・特別積合	10p	1. 旅客自動車	
・地下鉄	3p	・一般貨物	10p	・保有台数	18p
・路面電車	3p	・ターミナル	10p	・新規登録(乗用)	18p
2. 自動車		3. 港湾運送		・新規届出(軽自動車)	18p
・乗合バス	4p	・内航、外航	11p	2. 貨物自動車	
・貸切バス	4p	・内航、外航コンテナ	12p	・保有台数	19p
・ハイヤー・タクシー	5p	4. 船舶		・新規登録(貨物)	19p
3. 船舶		・海峡	13p	・新規届出(軽自動車)	19p
・内航フェリー	6p	・中・長距離	13p		
・外航フェリー	6p	5. 航空			
4. 航空		・国内線	14p		
・国内線	7p	・国際線	15p		
・国際線	8p	6. 営業倉庫			
		・普通倉庫	16p		
		・貯蔵倉庫	16p		
		・冷蔵倉庫	16p		





I. 概況

1. 旅客輸送


	JR北海道	・北海道内における取扱い輸送人員は、対前年同月比19.6%増、このうち北海道新幹線の輸送人員は同60.0%増となった。また、対前々年同月比は37.3%減、このうち北海道新幹線の輸送人員は同88.4%減となった。
	地下鉄	・札幌市営地下鉄における取扱い輸送人員は、対前年同月比37.2%増、このうち定期旅客は同36.7%増、定期外旅客は同37.5%増となった。また、対前々年同月比は37.1%減、このうち定期旅客は同26.8%減、定期外旅客は同42.6%減となった。
	路面電車	・北海道内における取扱い輸送人員は、対前年同月比40.2%増、このうち札幌市は同31.7%増、函館市は同58.0%増となった。また、対前々年同月比は42.7%減、このうち札幌市は同37.4%減、函館市は同50.1%減となった。
	乗合バス	・北海道内における取扱い輸送人員は、対前年同月比30.6%増、このうち定期旅客は同15.2%減、定期外旅客は同36.3%減となった。また、対前々年同月比は60.8%減、このうち定期旅客は同53.4%減、定期外旅客は同63.7%減となった。
	貸切バス	・北海道内における取扱い輸送人員は、対前年同月比42.7%増となった。また、対前々年同月比は57.3%減となった。
	ハイヤー・タクシー	・北海道内における取扱い輸送人員は、対前年同月比33.6%増、このうち札幌交通圏は同36.5%増となった。また、対前々年同月比は37.2%減、このうち札幌交通圏は同37.5%減となった。
	内航フェリー	・北海道内における取扱い輸送人員は、対前年同月比62.3%増、このうち道内相互間は同85.2%増、道内一道外間は同58.5%増となった。また、対前々年同月比は61.5%減、このうち道内相互間は同73.1%減、道内一道外間は同58.0%減となった。
	外航フェリー	・外航フェリーの運航実績はなかった。
	国内線	・北海道内各空港における取扱い輸送人員は、対前年同月比310.8%増、このうち新千歳～東京(羽田)は同280.9%増となった。また、対前々年同月比は73.9%減、このうち新千歳～東京(羽田)は同74.5%減となった。
	国際線	・国際線の運航実績はなかった。

2. 貨物輸送



	JR貨物	・北海道内における取扱い輸送量は、対前年同月比5.3%増となった。また、対前々年同月比は4.7%減となった。
	特別積合	・北海道内主要事業者(7社)における取扱い輸送量は、対前年同月比2.5%増、このうち宅配貨物取扱い個数は同2.3%減となった。また、対前々年同月比は2.2%減、このうち宅配貨物取扱い個数は同28.5%増となった。
	一般貨物	・北海道内主要事業者(125社)における取扱い輸送量は、対前年同月比9.6%減となった。また、対前々年同月比は16.9%減となった。
	ターミナル	・北海道トラックターミナル(株)における取扱い輸送量は、対前年同月比1.7%減となった。また、対前々年同月比は11.1%減となった。
	内航	・北海道内主要港(7港)における取扱い輸送量は、対前年同月比8.0%増、このうち移出は同17.1%増、移入は増減なしとなった。また、対前々年同月比は2.0%増、このうち移出は同5.0%増、移入は同1.0%減となった。
	外航	・北海道内主要港(7港)における取扱い輸送量は、対前年同月比13.8%増、このうち輸出は同31.4%増、輸入は同9.7%増となった。また、対前々年同月比は3.9%減、このうち輸出は同11.6%増、輸入は同7.5%減となった。

	内航コンテナ	・北海道内主要港(7港)における取扱い実入りコンテナ輸送量は、対前年同月比0.3%増となった。また、対前々年同月比は0.1%減となった。
	外航コンテナ	・北海道内主要港(7港)における取扱い実入りコンテナ輸送量は、対前年同月比2.3%減となった。また、対前々年同月比は6.9%増となった。
	海峡	・海峡航路における取扱い輸送量は、対前年同月比0.8%増、このうち下りは同0.3%減、上りは1.9%増となった。また、対前々年同月比は4.9%減、このうち下りは同6.5%減、上りは同3.3%減となった。
	中・長距離	・中・長距離航路における取扱い輸送量は、対前年同月比8.0%増、このうち下りは同5.9%増、上りは同10.4%増となった。また、対前々年同月比は2.3%減、このうち下りは同3.1%減、上りは同1.3%減となった。
	国内線	・北海道内各空港における取扱い輸送量は、対前年同月比27.4%増、このうち新千歳～東京(羽田)は同11.7%増となった。また、対前々年同月比は38.8%減、このうち新千歳～東京(羽田)は同40.6%減となった。
	国際線	・新千歳空港における取扱い輸送量は、対前年同月比408.1%増、このうち定期便及びチャーター便は同16155.8%増、保税運送物は同36.0%増となった。また、対前々年同月比は3.1%減、このうち定期便及びチャーター便は同24.7%減、保税運送物は同404.1%増となった。
	普通倉庫	・札幌市所在主要事業者(19社)における入庫高は、対前年同月比21.3%増、保管高は同4.4%減、当期末の利用率は82.5%となった。また、対前々年同月比は、入庫高は7.5%増、保管高は4.4%減となった。
	貯蔵槽倉庫	・北海道内主要事業者(20社)における入庫高は、対前年同月比13.2%減、保管高は同7.7%減、当期末の利用率は64.7%となった。また、対前々年同月比は、入庫高は17.5%減、保管高は16.4%増となった。
	冷蔵倉庫	・札幌市所在主要事業者(23社)における入庫高は、対前年同月比0.2%増、保管高は同3.9%減、当期末の利用率は26.9%となった。また、対前々年同月比は、入庫高は7.0%減、保管高は6.5%減となった。

3. 観光

	延べ宿泊者数	・北海道内における延べ宿泊者数は、対前年同月比180.0%増、このうち日本人は同180.8%増、外国人は同8.3%減となった。また、対前々年同月比は59.7%減、このうち日本人は同50.8%減、外国人は同99.7%減となった。
---	--------	---

4. 車両数

	新規登録(乗用)	・北海道内における登録台数は、対前年同月比1.0%増となった。また、対前々年同月比は28.1%減となった。・北海道内における自動車保有台数(普通・小型車)は、対前年同月比0.5%減となった。また、対前々年同月比は1.5%減となった。
	新規届出(軽自動車)	・北海道内における届出台数は、対前年同月比1.2%減となった。また、対前々年同月比は14.3%減となった。
	新規登録(貨物)	・北海道内における登録台数は、対前年同月比12.6%増となった。また、対前々年同月比は4.0%減となった。・北海道内における自動車保有台数(普通・小型・被牽引車)は、対前年同月比0.7%増となった。また、対前々年同月比は1.6%増となった。
	新規届出(軽自動車)	・北海道内における届出台数は、対前年同月比7.9%増となった。また、対前々年同月比は17.9%減となった。

< 凡例 >

R3.6	R3.5	R3.4	R3.3
------	------	------	------